

●6年制学科のカリキュラムの特色

本学は薬学部に加え、危機管理学部、看護学部と3学部を擁する利点を生かした医療系多職種連携教育プログラム(「医療専門職連携導入」など)、さらに、医療現場における事故回避のためのリスクマネジメント能力のみならず、近年増加している自然災害など緊急時、救急時の対応能力(クライシスマネジメント)を養成するための特徴ある教育プログラム(「リスク危機管理論」、「救急・災害薬学」など)を用意し、危機管理に関する卓越した知識と技能を有した薬剤師養成に取り組んでいます。また、入学直後から6年間を通じ継続して実施される医療倫理教育、コミュニケーション教育プログラムは、今後新設される地域連携薬局において在宅医療やかかりつけ薬剤師として活躍できる人材を養成します。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

学内教員と実習先指導者の綿密な連携。ふるさと実習の一部導入

●病院実習先・薬局実習先

主な病院・診療所名:総合病院国保旭中央病院、神栖済生会病院、亀田総合病院 29カ所
主な保険薬局:中央薬局知手店、日本調剤旭薬局、薬局与市鹿嶋宮中店 40カ所
調整機構により実習先を確保

●アドバンスト(臨床)実習

学生参加型、課題解決型、少人数討論型等さまざまな能動的学習方法を導入し、基礎、医療薬学、及び実践的な薬物療法を学び、人間性と社会性を備えた薬剤師を目指します。特に救急災害薬学関連のアドバンスト科目として「救急災害薬学」「救急・災害時チーム医療演習」「救命救助法」などの特徴ある科目を開講しています。

●多職種連携教育の具体的な内容

「医療専門職連携導入」では将来の看護職、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士のチーム医療に関する実践活動を教授します。その後、事例をもとに看護学部・薬学部・保健医療学科学生が混在したグループディスカッションを行い、医療専門職連携の役割の理解に導きます。さらにアドバンストな内容の科目として「医療専門職連携発展」などの科目を開講しています。5年次の病院実務実習にて各学生の実習先施設で学習する機会を設けます。

●多職種連携教育を行う医療施設名

学内演習で実施

●薬剤師国家試験への取り組み

入学初年次から国家試験合格を見据えた取り組みとして共通オフィスアワー(低学年対象の個別補習教育)やアカデミックアドバイザーシステムなどを提供しています。入学前教育やリメディアル教育から高度な薬学専門教育に至るまで、入学当初の「薬剤師になりたい」という目標を見失うことなく6年間の積み重ねを確かなものとし、自立した学習姿勢を身につけることができる体制を構築しています。

●卒業研究について

6年制 「卒業研究」は5、6年次に行っています。ベテランのみならず中堅・若手の教員や大学院生による実験指導も活発に行なっており、卒業研究を通して論理的・科学的思考のみならず問題解決能力・プレゼンテーション能力を養っています。研究を行う、実験設備については、遺伝子改変動物も飼育可能なSPF区画を備えた動物実験施設、走査電子顕微鏡、共焦点レーザーสキャン顕微鏡、DNAシークエンサー、精密質量分析装置(ESI-TOF-MS)、高分子化合物分子量分析装置(LC/MS/MS)など、最新鋭の設備を整えています。

●入試の変更点

昨年度は総合型選抜を事前面談型として実施したが、2024年度からは、出願してから面接を行う方式に戻した。

●入試に合格するためのアドバイス

昨年度に引き続き、今年度も総合型選抜において6年間の授業料が最大100%免除される「特待生制度」がある。大学研究と自己分析を行い、学科の求める学生に合う人物像であることがアピールできるよう事前提出書類の「学修計画書」と「面接」の対策を行ってください。

●過去問を公開しておられますか

回答なし

●面接や小論文について教えてください

回答なし

●大学独自の奨学金制度

主なところでは、総合型選抜で「入試特待生制度」を設定。特待生枠内で入試成績上位者に対し、入学から卒業までの授業料を成績に依

じて100%免除または50%免除を実施している。

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

家賃相場は1Kの場合、3万円代後半から4万円代前半が家賃相場となります。銚子駅から大学の路線バスの経路に沿って学生向けアパート・マンションが立ち並んでいます。また、女子学生向けの女子寮もあります。

●オープンキャンパスの日程

オープンキャンパス2023

2023年7月16日、8月11日、10月1日

内容:学部学科紹介、見学、体験、入試相談等